



総合的人間関係力を涵養する学生支援

～大学と地域で作るプレ社会における実践的トレーニング～

大学概要

1941(昭和16)年に設立された「山口県立女子専門学校」を母体とし、国際文化学部、社会福祉学部、生活科学部及び看護学部並びに国際文化学研究科(修士課程)及び健康福祉学研究科(博士前期・後期課程)からなる、学生収容定員1,235人、専任教員120人の小規模総合大学である。

本学の教育理念

- ①人間尊重の精神
- ②生活者の視点の重視
- ③地域との共生
- ④国際化への対応

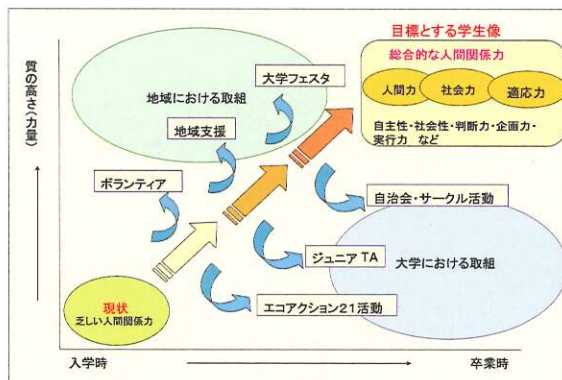
生命と生活の質を探究しつつ、生活者1人ひとりが健康で文化的に暮らせる対人支援を行う人材育成を目指している

本プロジェクトの概要

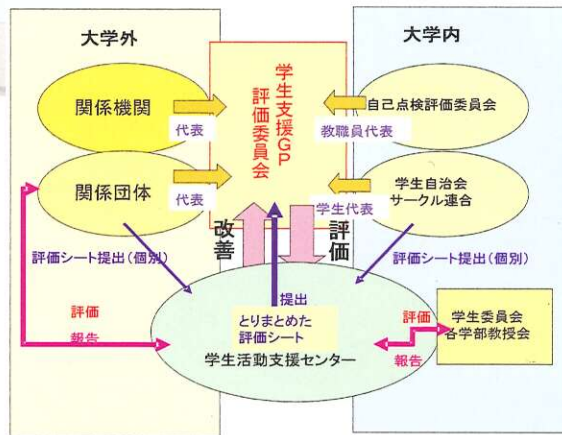
大学生の人と関わる力の低下を生活経験や社会体験の不足から来るものと考え、学生支援の観点からその経験を補っていくことを目的としている。大学及びそれを取り巻く地域社会を現実の社会の前段階であるプレ社会と捉え、このプレ社会において、学生が大学や地域社会の要請に応じて様々な取組を行うことによって、学生同士は言うまでもなく世代や職種異なる多くの人々と関わり、体験を通じて自主・自立の精神を養い、総合的人間関係力を身につけることが狙いである

キーワード

- 1. 総合的人間関係力
- 2. 自主・自立
- 3. プレ社会
- 4. 地域との連携
- 5. ジュニアTA制度



本取り組みによって期待される効果



評価の実施体制

学内既設の自己点検評価委員会、学生代表(自治会会長、サークル連合会長)、外部委員として地域代表(学外の関係機関や関係団体の代表)等からなる「学生支援GP評価委員会」(仮称)を設置し、プログラムについて評価を行う

活動実践：大学 ⇄ 学生

学生を大学の「ゲスト」ではなく、「スタッフ」として迎える
例：大学図書館業務、入学式・卒業式等大学、行事の補助



活動実践：学生 ⇄ 学生

学生による学生のための支援
例：留学生サポート、障がい学生サポート、自治会・サークル活動支援



活動実践：地域 ⇄ 学生

地域からの各種要請の受託と地域への学生派遣
例：地域の祭り復興、地域フェスティバル参加

